1012

「Rx\_Data」という事前指定したコマンド（最終的にはセンサデータ）をNXPに送信すると, 受信したことを確認するために, ACKをターミナルに表示させる.(赤矢印の部分)

前回）ターミナルの方では, ACKをプリントして表示することができたが,

ラズパイで起動させているPythonでは表示させないという問題があった.

今回）UART通信を使用して, 表示できるようにする.

ダイアグラム

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

vAHI\_UartWriteData関数でUart通信が可能になるが, 第２引数に苦戦しており,

下記では第２引数を変化させて実行している.

キーボード入力をUart通信で成功していたため, vAHI\_UartWriteData関数だけを使用していたが, 上記の関数説明の下２行で「Before this function is called, the UART must be enabled using the function bAHI\_UartEnable()」

と記述されているため, bAHI\_UartEnable関数でUartを有効化すべきか検討中である.

(1)

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

(2)

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

同様にpython での実行結果は

テキスト

自動的に生成された説明